

# 2020 みんなでつくる奥浦 おくら夢のまちづくり協議会

## まち協 カレンダー

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

総会
役員会
地域振興部会
防犯防災部会
保健福祉部会
環境保全部会
体育文化部会
民泊事業
平和のぼら保育園
奥浦小学校
奥浦中学校
奥浦小学校育友会
奥浦ジュニアバレーボールクラブ
その他の行事

役員会開催予定
4日まで 奥浦イルミネーションライトアップ
日程未定
避難訓練
7・8日 21・22日
買物送迎支援
未定 福祉研修事業
26日
第16回五島市民駅伝大会
8日
3学期始業式
12日 会場：福小体育館
ジュニアバレーほっともっと杯 新人戦五島市大会

Happy Valentine's Day
4・5日 18・19日
買物送迎支援
2日
奥浦地区生活環境美化事業
7日
五島市体験交流フォーラム
28日・29日
女子聖学院高等学校
1日・2日 会場：佐世保
原中学校新人戦バレーボール大会
16日 会場：福小体育館
ジュニアバレー送別大会
8日 会場：佐世保
U14男子バレーボール大会
22日・23日
ジュニアバレーほっともっと杯
新人戦県大会
2日
市P研究大会
23日
椿マラソン

## 民泊体験

大阪府立都島工業高等学校  
【11/26(火)~11/28(木)】



大阪の工業高校、男子40名ということで、少し身構えていたのですが、手先は器用だし、どこか素朴さを感じられる愛嬌たっぷりの生徒達でした。

## 第16回 五島市民駅伝大会

開催日 2020年1月26日(日)  
午後2時スタート



<奥浦地区参加予定種目>  
男子：地 区（2チーム）・シニア（1チーム）/女子：（2チーム）

### コース

男子：午後2時スタート	女子：午後2時35分(予定)
【1区：4.9km】旧貞方酒店前	【1区：1.7km】崎山出張所前
【2区：2.2km】本山出張所前	【2区：2.1km】みはらし荘入口
【3区：3.0km】野々切グラウンド前	【3区：1.0km】給食センター前
【4区：2.5km】鏡瀬東駐車場入口	【4区：1.1km】八幡神社先
【5区：3.8km】崎山出張所前	【5区：1.8km】五高グラウンド前
【6区：3.9km】給食センター前	【ゴール】市役所玄関前
【ゴール】市役所玄関前	

選手一丸となって、優勝目指して頑張りますので  
ご声援宜しくお願い致します。

## ご寄付の御礼

この度、おくら夢のまちづくり協議会副会長 平山末義氏のご家族より、まちづくり協議会へ心温まるご寄付を頂きました。  
厚く御礼申し上げます。

★月1回発行 長崎県五島市（奥浦地区）戸別配布 ~ 奥浦だより ~

# よかところ！おくら 1月号

## 謹賀新春



旧年中は、皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。早いもので、会長に就任しまして半年あまりが過ぎ、その大変さが身に染みる今日この頃です。

昨年は天候に恵まれず、ベタンク大会は3日間に変更したり、そば、大豆の生長も悪く、収穫にも影響がでました。

また、フラワーロード事業の花の種まき時期が遅れたりもしました。各部会の皆さんもご苦労されたと思います。

この場をお借りして、ご協力に感謝申し上げます。

今年は、天候に恵まれることを強く願う次第です。

まずは、今年最初の事業である市民駅伝大会に、男女合わせて5チームを出場させることです。

チーム編成も高齢化が進み、ここでも地域の実情を感じさせられます。

まだ他にも、たくさんの事業がありますが、今年も皆様のご尽力を得ながら、進めていけたらと思っております。よろしくお願い申し上げます。

- ちくじ —
- おくら夢のまちづくり協議会 会長 浦 勝彦 年頭の挨拶
  - 奥浦地区の人口
  - おくらの食物図鑑 なまこ
  - 2020年の干支は「庚子（かのえね）」です。
  - 浦頭・堂崎教会 クリスマスイルミネーション
  - おくら夢のフラワーロード ~菜の花~
  - 地域振興部会 大豆/ソバ
  - まち協カレンダー
  - 民泊体験
  - ご寄付の御礼
  - 第16回 五島市民駅伝大会

## 奥浦地区の人口 (R1. 11. 30現在)

<総数> 994人 (先月人口総数より+5)  
前年11月末：998人  
世帯数：579世帯

平均年齢：57.9歳  
高齢化率：46.28% (-0.03) ※ ( ) は前月比

### 奥浦地区の年代別人口



男	27	41	14	28	45	61	99	77	45	14	0	451
女	21	36	22	22	52	67	86	101	92	44	0	543
年齢	0~10歳未満	11~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	合計



「海鼠」って何のことかわかりますか？  
 答えは「なまこ」です。  
 上から見た姿が「ねずみ」に似ていることや、夜に動き回ることから言われているそうです。しかし、長崎ではお正月料理に欠かせない食材で、縁起物とされています。  
 「なまこ」はこの時期旬なので、初物は長寿に繋がり福を呼び込んでくれると考えられたり、形が米俵に似ていることから豊作祈願とされたりしています。  
 また中国では、「海の朝鮮人参」を意味する「海參」と書き、疲労回復・免疫力アップ・滋養強壮・美肌の効果がある漢方薬として、高い人気があります。  
 他にも、日本三大高級珍味のひとつとして、ナマコの腸を塩漬けにしたものは『コノワタ』として重宝されています。

### おくらの食物図鑑 なまこ

### 2020年の干支は『庚子（かのえね）』です。

子は十二支の筆頭であり、新たな十二年間の始まりの年。  
 「子」は「一」と「了」との組み合わせで、「始まり」から「終わり」までという意味もあるようですが、「子」は本来「孳（じ）」という文字を使っており、「滋る」「増える」という意味です。  
 「子年」を表す言葉として「陽気既動、萬物孳萌(じほう)」があり、「万物が、今まさに生れ出て活動し始め、生物が増え芽生える萌し(きざし)を見せる。」という意味になるそうです。  
 「子」は「増える」という意味があることから、繁殖力がある「ねずみ」を充てたとも言われています。  
 「庚」はもともと「更」と同語で、「改めて」「新たに」という意味があり、「次の新たな世代に継承しつつ更新していく」ことを表わしています。  
 このことから「庚子」の年は、新たな時代への進化と活動し始めるのに適した年と言えるらしく、全く新しいことにチャレンジするというのもいかがでしょうか？  
 「ねずみ」といえば、害獣のイメージが強いと思いますが、「コマネズミのように動く」と言われる様に、一生懸命働く行動力、堅実な労働により蓄財を果たすシンボルとして「寝ず身」とも言われています。



繁殖力の強さから「子孫繁栄」や、七福神で有名な大黒様が祀られている京都の大国主神社では、狛犬ならぬ「狛ねずみ」が大黒様の使いとされ、繁栄を司る存在とし、白ねずみには金運力があるとされているそうです。  
 そのためか、日本政府が明治18年に発行した旧1円紙幣には、大黒様の米俵のそばには3匹のねずみが描かれています。



ねずみの様に、頑張ってみるのも良いかもしれませんね。



狛ねずみの片方は打ち出の小槌を、もう片方は米俵を持っており、どちらも大黒様が常に持っているものなので、とても忠実なのがわかりますね。



### 浦頭教会・堂崎教会 クリスマスイルミネーション

開催期間：令和元年12月8日（日）～令和2年1月4日（土）  
 場所：浦頭教会 堂崎教会 平蔵消防詰所横 おくら元気村前

12月1日（日）・7日（土）・8日（日）クリスマスイルミネーションの設置作業が行われました。当初、1日に作業を行う予定でしたが、突然の大雨で光のトンネルの骨組みしか出来ず、改めて7日・8日で設置作業を行いました。無事作業も終わった8日の18時からは点灯式も行われ、今回新たに設置された元気村前のイルミネーションに、早速足を止められる方もいらっしゃいました。



### 『おくら夢のフワフワロード』 ~菜の花~

12月14日（土）、平和のばら保育園下と奥浦中学校横で、奥浦小学校、中学校の子供たちに手伝ってもらいながら菜の花の種まきを行いました。  
 始めに事務局より、種まきにあたっての説明を行い、肥料と石灰、菜の花の種が合わさったバケツを手に、種まきをしてもらいました。  
 慎重に種をまく子、豪快に種をまく子それぞれでしたが、あっという間に作業も終わり大変助かりました。  
 部活動中の貴重な時間に、本当に有難うございました。



### 地域振興部会 大豆

12月3日（火）大豆の収穫を行いました。台風17号の被害で、収穫も危ぶまれていましたが、何とか収穫にこぎ着けることができました。  
 房を触ってみたら、実が入っていないものもあり、落胆していましたが、収穫を終えると思っていたよりはという量だったので一安心出来ました。  
 朝早くからの作業、大変お疲れ様でした。

### 地域振興部 ソバ

12月5日（木）ソバの収穫と脱穀を行いました。その場で収穫したソバを、次々と脱穀。全てが手作業で、見た目の風景とは全く違い、地味な作業で重労働。連日の作業にも関わらず、早く作業をして頂きありがとうございました。

